

計議第 3 4 4 号、計議第 3 4 6 ～ 3 4 9 号議案参考資料 2

計議第 3 4 4 号議案	京都都市計画（京都国際文化観光都市建設計画） 用途地域の変更（京都市決定）
計議第 3 4 6 号議案	京都都市計画（京都国際文化観光都市建設計画） 高度地区の変更（京都市決定）
計議第 3 4 7 号議案	京都都市計画（京都国際文化観光都市建設計画） 地区計画の変更（京都市決定） （洛西ニュータウン・タウンセンター地区地区計画）
計議第 3 4 8 号議案	京都都市計画（京都国際文化観光都市建設計画） 地区計画の変更（京都市決定） （大枝北福西町二丁目地区計画）
計議第 3 4 9 号議案	京都都市計画（京都国際文化観光都市建設計画） 地区計画の変更（京都市決定） （大枝南福西町二丁目・三丁目地区計画）

目次	P. 1～ 計議第 3 4 4 号議案、計議第 3 4 6 号議案～計議第 3 4 9 号議案 意見書の要旨
----	---

都市計画案に対する意見書要旨

京都都市計画（京都国際文化観光都市建設計画）

- 計議第 3 4 4 号議案 用途地域の変更（京都市決定）
 計議第 3 4 6 号議案 高度地区の変更（京都市決定）
 計議第 3 4 7 号議案 地区計画の変更（京都市決定）
 （洛西ニュータウン・タウンセンター地区地区計画）
 計議第 3 4 8 号議案 地区計画の変更（京都市決定）
 （大枝北福西町二丁目地区計画）
 計議第 3 4 9 号議案 地区計画の変更（京都市決定）
 （大枝南福西町二丁目・三丁目地区計画）

縦 覧 期 間 令和 5 年 9 月 1 9 日から令和 5 年 1 0 月 3 日まで
 意 見 書 数 6 通
 意 見 件 数 3 1 件

都市計画の案に対する意見種別の集計表

関連議案	意見の 種別	意見の内容	意見 件数
計議第 3 4 4 号 議案、 計議第 3 4 6 号 議案から 計議第 3 4 9 号 議案まで	全般について	・ まち全体の高齢化の進行が、ニュータウンの抱える諸問題の解決策を考える上での主要なポイントである。変更案がその観点から検討しているのか分かりにくいいため、変更案の売りを分かりやすく PR してほしい。 ・ タウンセンターやサブセンターからの店舗の撤退や、洛西中央病院の移転は、都市計画規制が原因で経営が成り立たないからではなく、利用者の減少が最大の原因。その検証なしにことを急ぐべきではない。 ・ 見直しは、雇用の場を創出するためとのことであるが、洛西ニュータウンをどんなまちにしようと言うのか。当時伸び続けた京都市のベッドタウンとして開発された洛西ニュータウンの当初の目的から外れて商業地域化するなら、市行政の一貫性がなくなり行政の大きな責任である。まずはその事の是非を問う住民合意が必要である。 ・ タウンミーティングでの議論が反映された案とは考えられない。高さ規制や用途地域の変更により人口減少や少子高齢化が改善されるとは考えられない。総合的な将来ビジョンの上に、地域住民の要望を大切にして計画を策定すべき。突如出された理解しがたい計画で、再検討を求める。 ・ 突然用途地域の変更などが提案され、住民意見を十分に聞くこともないまま進めている。	5

関連議案	意見の種別	意見の内容	意見件数
計議第344号議案、 計議第346号議案から 計議第349号議案まで	タウンセンターについて	・ 規制をはずし高層化しても、若者が手の届かない市内のマンション群と変わらず、景観を壊すだけ。壊した景観は二度と戻らない。反対である。 ・ 高さ規制を見直しマンションができれば若者が来るというが、市営住宅やURに空き家が多くある状況を把握しているのか。40年後にはタワーマンションの住民も高齢になり建替えもできなくなる。将来の迷惑施設を造ることに反対。	2
	サブセンターについて	・ 地域内にあるサブセンター機能を魅力あるものに充実させるべき。 ・ 小規模工場が立地可能になるとのことだが、騒音や臭い、日照が問題になる。工場には反対。 ・ サブセンターが商店街であることは、地元で産み育てる根幹。サブセンターに出店しやすいよう、商店に補助金などの助成をしてほしい。	3
	統合後の学校跡地について	・ 洛西ニュータウンを子育て、若い人たちの場として復活させるならば、学校跡地を商業地域に変えては、戻ってきた子供達の行き場がなくなる。まずは自治会館や老人センター等として残すべき。その場合、建蔽率は60パーセントで十分であり、高さ規制を外し商業地域にするのはありえない。 ・ 中学校跡地をなぜ近隣商業地域にする必要があるのか理解不能。住民に対し、誘致したい施設の提案もなく進められている。これから誘致するものについては、公開の討論会などで住民意見をとことん聞いて進めてほしい。 ・ 子どもがいる世帯として、竹の里小跡地のグラウンドは、子供たちがスポーツや屋外遊びを自由に安全に楽しめる場所になってほしい。校舎はバリアフリーにしてほしい。また、公営の子ども食堂ができたらと思う。 ・ 特別養護老人ホームと保育園の拡充、学童保育、児童館などを併設した施設をつくる。グラウンドや体育施設、集会所など地域コミュニティが活かされる施設として活用する。 ・ ニュータウンでスーパーが撤退している状況から、学校跡地に商店が来るのは考えにくい。竹の里小の防災拠点、避難所機能は絶対に必要。防災拠点として、高齢者施設の建設や地域住民が集える場所としてほしい。	5
小計			15

関連議案	意見の種別	意見の内容	意見件数
その他	低層住宅地区について	第一種低層住居専用地域の土地の分割について、町並みは一旦壊すと回復できない。中古住宅なら若者でも購入できる。余計なお世話である。	1
	公営住宅等について	- 持ち家は簡単には改善が望めないため、公営住宅や公団住宅のリニューアルが重要。それが先行しなければ、タウンセンターやサブセンターの部分的な改革では机上の案になりかねない。まずは公営住宅等に入居希望者が殺到する案を提示すべき。 - 市街地の住宅・マンションは高騰している。リノベーションすればよみがえる市営住宅や公団住宅がある。 - 府営・市営住宅の改修と子育て世代の優先入居策を提案する。 - 市営住宅にエレベーターを設置してほしい。高齢者も多く、子育てをする若い方にも必須。また、風呂にシャワーがないため、早急に対応してほしい。	4
	交通について	- 市内中心部と比較して利便の悪さ、運賃の高さは直ちに解消すべき。環境にやさしく建設費が安いなどの利点のあるLRTの導入や、ニュータウン内を回る巡回バスの導入を提案する。 - JR 桂川と洛西、芸大跡地、京大桂キャンパスを結ぶ交通として、モノレールの導入がよいと思う。 - 市立芸大が移転したのは、京都の芸術の本拠地として売り出すには交通が不便だからだ。ベッドタウンは働く場所までの交通の便の確保が最大の要件であり、地下鉄が来ると聞いて先輩達はこのまちに来たが、交通問題は中長期的な課題として見直しの対象から外れ、芸大のみ移転した。本末転倒だ。 - 洛西の人口が減少した最大の原因は、市が地下鉄計画を放棄し、高いバス代や一日乗車券を使えない状態を続けてきたからである。交通問題を中長期的課題と切り捨てている市政は許せない。 - 人口減少の原因は、地下鉄計画の頓挫と、市内中心部や近隣市町村へのアクセスの悪さと運賃の高さである。	5
	市立芸大跡地について	- 芸術・文化の国際的な発信地になるよう、今の施設を生かしたものにすべき。 - 芸大跡地の売却又は貸付に反対。芸大跡地には使える施設がたくさんあり、有効活用してほしい。新しい芸術村を創れば観光客が訪れる。	2
	その他	- 洛西ニュータウン病院は昨年婦人科がなくなり、病院がなくなるのではと噂されている。若い人に来てもらうためにも、総合病院は必要である。 - 人口減少は、子育てに適さない施設が原因。 - 洛西ニュータウンは緑豊かな山に囲まれるなど住環境が良い。この環境で住み続けられるために、住民の思いに沿った施策の実行が必要。 - ニュータウンの活性化について、芸術品の展示場の建設や劇場施設の建設などを提案する。	4
小計			16
合計			31

注：意見件数は、意見の種別ごとに当該種別の意見の件数を集計したものであり、1通の意見書の中に複数の種別の意見がある場合には、重複するため、意見書数と異なる。

都市計画の案に対する参考意見要旨

参考意見書数 1 通

参考意見件数 5 件

上記 5 件の意見については、住所と氏名が未記載もしくは受付期間を過ぎて提出されたものであるため、参考意見として取り扱う。

関連議案	意見の種別	意見の内容	意見件数
計議第 3 4 4 号議案、 計議第 3 4 6 号議案から 計議第 3 4 9 号議案まで	全般について	・ 洛西ニュータウンの大規模規制緩和について、住民の実態や要望を聞くことなく推進している。反対を表明する。	1
その他	洛西 “SAIKO” プロジェクトについて	・ 洛西 “SAIKO” サポーターの募集は「洛西ニュータウンアクションプログラム」の焼き直しである。	1
	統合後の学校跡地について	・ 地域の避難所、地域包括センター、市民いきいき活動センター、学童・児童館、子ども食堂、病児保育所など、地域住民に寄り添った活用を要望する。	1
	交通について	・ 市内で運用されている均一運賃を洛西ニュータウンでも適用することを求める。また、公共交通での利便性に、中長期的な計画として鉄軌道は欠かせない。人口減少の解決策として、まちづくりと公共交通を充実し、地域住民の視点で進めることを強く求める。	1
	市立芸大跡地について	・ 大学院は現在地に残し、芸術・文化面の施設を運用し、今までどおり地域住民との交流促進や、西京区の防災拠点とし、避難所としての運用を望む。	1
合計			5

注：意見件数は、意見の種別ごとに当該種別の意見の件数を集計したものであり、1 通の意見書の中に複数の種別の意見がある場合には、重複するため、意見書数と異なる。